

プログラミングを学ぶ、子ども向け体験教室を通じて自由な発想を育む取り組みが注目されている。

電材商社の三光電業（西区）は8月24、25日、簡単なプログラミングを使ってロボットカーを動かす小中学生向け「第8回ものづくり教室」を同社展示場（南区）で開く。今年度は県発明協会の協力を取り付けた。昨年からは「ロボットアイデア甲子園」の中国地区大会事務局を担い、8月に見学会、10月28日に本選を行う。森脇喜美代社長は、

「当社はロボットを使った課題解決の提案に注力しており、システムインテグレーター養成は急務。子どもたちの柔軟な発想に刺激を受けている。ものづくり教室での体験が将来の夢につながることを願っている」

自由な発想育む

将来の夢・職業アンケートでユーザーバ―と答える小学生が増えてきているという。動画視聴時間が次第に長くなっているのも気掛かりだが、電子工作とプ